

**平成30年度第2回
岐阜県科学技術振興センター指定管理評価員会議 結果概要**

○日 時：平成31年3月6日（水） 14時～15時

○場 所：岐阜県科学技術振興センターAV会議室

1 平成31年度事業計画について

【指定管理者】説明

○主な質疑応答・意見・感想等

【評価員】平成30年度の利用状況の見込みはどうか。

【指定管理者】過去最高であった平成29年度に次ぐ状況である。

【評価員】利用率が向上しており、指定管理者の努力を感じる。

【評価員】平成30年度に新規で実施した事業の効果は。

【指定管理者】研修時等、リラクゼーションルームに設けた授乳室の利用がある。平均して月2回ほどである。

【評価員】資料2のP7「施設案内サービス」について、希望はどれほどあるか。

【指定管理者】使用当日の案内希望はあまりない。後日見学する場合はある。

【評価員】科学技術図書資料室を県図書館等へ移設するような議論はあるか。また、現在の利用者数は。

【県】移設についての議論はしていない。蔵書の新規購入は行っていないが、JIS規格の更新は行っている。また、産経センターの蔵書の寄贈等も検討されている。

【指定管理者】年間で1万人以上の来館があり、図書の貸出冊数は600冊、貸出人数は200人以上。

【評価員】いつもきちんとした計画が立てられている。予算も消費税増税分程度しか増加していない中で、施設の老朽化に対応しており、努力を感じる。子ども向けのイベントも、引き続き取り組んでほしい。

※質疑終了後、各評価員から平成31年度事業計画書について、適当である旨の評価をいただいた。